

令和3年度

湖南省行政改革懇談会議事要旨

第5回会議

(令和3年5月12日開催)

Web 会議併用

湖南省行財政改革推進課

懇談会委員出席者

会長	新川 達郎(Web 参加)
副会長	田中 正志(Web 参加)
委員	市川 徹二(会場参加)
委員	岡田 啓子(Web 参加)
委員	木島 真介(Web 参加)
委員	小林 邦彦(会場参加)
委員	境 和彦(会場参加)
委員	園田 英次(Web 参加)
委員	手島 英治(会場参加)
委員	中作 佳正(会場参加)
委員	広部 武(会場参加)
委員	森本 ゆかり(Web 参加)

事務局出席者

総務部長	井上 俊也
総務部次長	西田 章彦
行財政改革推進課長	野崎 博
行財政改革推進課長補佐	園田 孝志
行財政改革推進課・ICT 推進室長補佐	森岡 和也
行財政改革推進課 主任主事	谷口 達哉

開始 9時 30 分

事務局	<p>委員の皆さまおはようございます。</p> <p>本日は、公私ご多用の中ご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。</p> <p>定刻になりましたので、「第5回 湖南省行政改革懇談会」を開催いたします。会議を開催するにあたりまして、まず新川会長から一言ごあいさつを頂戴したいと存じます。</p> <p>新川会長お願いいたします。</p>
	<p>【会長挨拶】</p>
事務局	<p>新川会長ありがとうございました。</p> <p>次に、懇談会委員の解職につきましてご報告いたします。退職等により石井委員、北村委員、土山委員の委員の皆様が本懇談会の委員を解嘱されることとなりましたのでご報告させていただきます。それでは、本日の会議の成立についてご報告いたします。委員 12 名に対し、出席は 12 名であります。したがって、「行政改革懇談会運営規則第6条第2項」に基づきまして1/2以上の出席でありますことから、本日の会議が成立していることをご報告いたします。議題に入る前に報告事項として、大綱素案に一部修正を加えておりますので事務局よりご報告いたします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p>
会長	<p>それでは、これより議題に入りたいと思います。</p> <p>湖南省行政改革懇談会運営規則第5条の規定により懇談会の議長を新川会長にお願いいたします。</p> <p>新川会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは早速議題に入ります。</p> <p>なお、本日は Web 会議を併用ということもあり発言の前に名乗ってから、ご発言下さいますようお願いいたします。</p> <p>本日の議題は、第四次湖南省行政改革大綱についてです。</p> <p>まずはじめに、議題1)パブリックコメントの結果につきまして事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p>
会長	<p>ただいま、パブリックコメントの結果について 説明がありました。</p>

	これらについてご質問・ご意見がございましたらお願いします。
委員	パブリックコメント結果の報告ということで、今回 2 人から合計で 8 件の意見が出ているということですが、やはり件数が少ないように思います。このことについてどのように考えていますか。
事務局	パブリックコメントにつきましては、昨年度に他の計画でも実施をいたしました。同様に 1 人か 2 人ぐらいから意見をいただいているような状況であり、市としても課題と認識しております。現在、広報やホームページ、各まちづくりセンター等において周知を行っていますが、周知の方法だけでなくパブリックコメントの方法についても検討していく必要があると考えています。
会長	他にご意見ありますでしょうか。 それでは、続きまして 2) 第四次湖南省行政改革大綱策定における最終提言(案)について を事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明】 ただいま、第四次湖南省行政改革大綱策定における最終提言(案)について報告がありました。 これらについてご質問・ご意見がございましたらお願いします。
委員	3 ページ目の上から 5 行目の公共施設の管理について、各論反対になりやすいということで、各論反対ということは総論についても反対であるということ。肝に銘じという部分ですが、この部分というのはどういう意図で、この一文が、入っているのかなということをお伺いしたいと思います。
事務局	公共施設の問題で湖南省として適正な規模にしなければならないといった総論の部分については皆様賛成をいただける場合が多いのですが、個々の施設の廃止などの議論を詰めていくとやはり反対になりやすい。その部分は総論として理解が得られていないのではないかと。いうふうなところで、ここで書かせていただいているところでございます。
委員	肝に銘じというのは、誰にとってということでしょうか。
事務局	こちらにつきましては、湖南省に対してということで、行政改革懇談会か

ら、市に対してこれを肝に銘じてくださいというふうなことで、提言として記載をさせていただいてるところでございます。市民に対して説明を尽くして、各論反対になりやすいものですが、それは結局総論賛成でないんじゃないかということをもととして考えてくださいと行政改革懇談会から提言をするという案になっております。

会長

これまでの公共施設の総合管理計画の実行にあたり、個別の施設の今後については、担当課もそうですし、利用されている方々、関係者の方々も含めて、その必要性ということをしつかりと主張してこられるということがありました。もう一方では、どの施設も不要な施設はありませんので、その中でどうやって全体の最適というのを図っていくのか、そのために個別の施設について、何がどこまで必要で合理化効率化そして削減が必要なのかというそういう議論を詰めていこうとしている時に、この施設は大事だから残しておかなければならないというようなことではこれはもう議論にならないということがありまして、ある意味ではそうした各論反対というのがそもそもの、この公共施設のあり方そのものを、考えようという方向に向いていない。

そういうところをしつかりと踏まえた上で、行政も議会もさらには市民の皆様方も、この行財政改革というのを考えていただきたいという趣旨だと思います。

少し肝に銘じとか、或いは挑戦をするといったような言い方で、抽象的な言い方になってるかもしれませんが、そうした趣旨をわかりやすく表現するということできればというふうに思っております。

委員

この文章の中で、どこかに超高齢化社会になっていく中で、高齢者が取り残されることがないように配慮するみたいな文章があると良いかなと思います。

会長

今回の提言の中でもSDGs、誰1人取り残さないというのが基本的な方針としてございますので、そうした趣旨というのは、少し配慮する必要があるかというふうに思っております。

なお、こういうWeb会議とそれから市役所にお集まりいただく委員と、両方の方々においでいただいて、ほぼすべての皆様方にお集まりをいただけたということもありますので、ただいまのようなご趣旨を踏まえ、事務局の方で一言、工夫をしてみただければと思いますがいかがでしょうか。

事務局

SDGsの考え方もございますので、もう一度文書のどこかで工夫させていただくということを進めさせていただきたいと思っております。

- 委員
まず、先ほどご説明の中であつたんですけれども、第2の政策と第1の政策が逆になっている部分はやはり違和感がありますので、1、2の順番にすることに賛成です。
あと、もう1点細かいことなんですけれども、資料1の方は西暦併記されているのですが、こちらの資料3の方におきましては、平成とかの表記のみの部分が見受けられますが、何か意図されてるのか、個人的には西暦表記もあつた方がいいのではと思っています。
- 会長
1番目の指摘のところはそのような方向で修正をさせていただきたいというふうに思っておりますが、元号と西暦の表記については事務局で何かお考えがあつたということでしょうか。
- 事務局
西暦の併記につきましては、そのような形で改めさせていただきたいというふうに考えております。
- 委員
具体的な取り組み内容ということで、資料1の27ページにあるんですが、市長、議会に提案していった場合に行革大綱というのがみんなに理解できるかというところがあります。例えば、具体的な取り組みでこういう遊休地を現在こういう形でこういうことにしてして参りましたというような、わかりやすい例題でもつけて提案していくと、より一層理解していただけるんじゃないか私は考えますがいかがでしょうか。
- 会長
具体的な特に固有名詞を持った事例等も入っているとわかりやすくなるのではないかとご意見をいただきました。
事務局の方で何かお考えございますでしょうか。
- 事務局
実際どのような取り組みを行っていくかっていう細かい表記っていうことなんですけれども、大綱自体につきましては、大きい枠で書かれてるものということで、詳細については実施計画の方で記載させていただいて、実施していきたいというふうに考えております。
- 会長
ありがとうございました。
ただいま事務局からは、大綱は大きな枠組みで書かれていて、方向づけをしているので、それに基づいて、実際の改革にあたっては実施計画というのを合わせて作成をしてこれが大綱とセットになって実行されていく。その中

で、具体的なご理解がいただきやすい記述もされているということで、そこは、実行のための計画の方にゆだねたいということでご説明をいただきました。

その他、いかがでしょうか。

委員

重ねてのご質問になるんですけども、やっぱり僕も先ほどの委員がおっしゃってた各論と総論の部分はやっぱり気になります。公共施設の課題についてはじゃなくて、実はどの課題についても総論が賛成で各論は反対ということは、企業でもどこでもあると思います。それで、反対だということになってしまうと、結局何もしないというのは、その下の段の未来への挑戦するっていうのと合ってるのか、重ねたご質問ですが失礼します。

事務局

趣旨としては先ほど説明したような思いで作ってはいるんですけど、委員の方からそういうご意見をいただくということであれば、市民の方にお示した時も同じように思われる方が一定数あるというふうに理解をさせていただきました。であれば大綱のご提言も、委員の方の思いと違うような提言っていうことになってしまいますと、少し意味合いが変わってしまいますので、一旦こちらで検討させていただくということで、進めさせていただきたいと思います。

委員

ありがとうございます。結局、矛盾してることってのはいっぱいあるんで、その言葉がいいかどうかわかりませんが、いずれにしてもこうしなければならないというコンセプトに向かって、進んでいくんだというのが、前に出た方がいんじゃないかなと、大変失礼ながら、思いました。

会長

少し表記のところで各論反対というのは反対になりやすいといったようなこういう少し誤った受けとめ方ということになりかねないところの要求は、整理をしていただいて、まずは基本的な考え方にしたがって、様々な反対は予想されますけれども、それらを乗り越えていくというような趣旨での表現というのを少し事務局としても工夫をしていただければというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

委員

やはり大綱というのは、一般市民とか私でもそうなんですけどわかりにくいです。今から1から直すと大変ですから、1行2行でさっとそれがわかるようなものを、追記されればいかなと思うんですが。あと、資料を拝見していますと資料1の8ページの改革目標というところですが、目標ぐらひは数字として何かできないかと思えます。言葉ばかりで、どうしても抽象的になるので数

字が欲しいなというのが本音でした。

事務局 委員ご指摘の部分なんですけれども、実際の数字の部分につきましては、この大綱に基づきまして作ります実施計画の方で示す取り組みをすることによって収支をこのような形に持っていくというものを明示していきたいというふうに考えております。

会長 大綱段階ではなかなか具体的な数値が出しにくいということで、もし可能であれば今回の提言案のところでも、実施計画で具体的な改革や改革目標を掲げていくといったようなことをどこか付け加えるようであれば、少し事務局の方で工夫をしてみてくださいとご指摘にこたえることができるのではないかと思います。事務局いかがでしょうか。

事務局 実施計画の方で数値目標を記載していますというような表記の仕方で、続けるような文章をちょっと考えさせていただきたいというふうに思います。以上でございます。

会長 この提言の中でも少し大綱の位置付けをいただいておりますので、皆さんの新しい大綱を策定するところ、そしてこれを実行するにあたっては、具体的な目標や具体的な項目というのを示した、実施計画が合わせて策定をされて実行に移していくといったようなことが、一言入ると良いかもしれませんのでよろしくお願いをします。

会長 その他、各委員からいかがでしょうか。
それでは特にこれ以上ないようございましたら、ただいまいただきましたご意見に基づいて、若干の修正もさせていただいた上でこの提言というのを改めて取りまとめをさせていただきたいと思います。なお、提言そのものの内容につきましては、すでにご了解をいただいているかと思っておりますので、この修正につきましては恐縮ですけれども、私会長とそれから事務局の方にご一任をいただくということさせていただければと思いますが、そういう扱いでよろしいでしょうか。

会長 すいません特にご異議がないということで恐縮ですけれどもそういう扱いにさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

会長 それでは少しすでにご議論の中でご意見もいただいて参りましたけれど

も、行革大綱に基づきまして実施計画が策定をされるということになります。これに基づきまして取り組み項目について事務局の方から、ご説明をいただきご意見を賜って参りたいというふうに思います。

【事務局説明】

会長 それではただいまの説明につきまして、ご質問、またご意見、こういう取り組みも必要ではないかといったようなご提案もありかと思えます。各委員からご意見を賜って参りたいというふうに思いますのでよろしくお願いたします。

委員 第 3 の政策の公共施設等総合管理計画の着実な実行のところですが、昨年度 3 月策定の、公共施設等総合管理計画個別施設計画では、すべての施設について、この今後の活用なり、どうするかっていうことはもう決まってるという理解でよろしいでしょうか。そうかまだどうするかを、この個別施設計画の中で、今後どうするかも検討するっていうような項目が入ったような計画になってるのか、そこをちょっと教えていただきたいなと思えます。

事務局 公共施設等総合管理計画の個別施設計画につきましては、十年間で一定方向性をもう定めたものもございしますが、検討中のものも実際ございします。ですので、検討中のものにつきましては十年間で期間を定めて、方向性を定めていく内容となっております。

委員 SDGsのことなんですけど、去年ですかね、湖南省が未来都市に選定されたということで、他の自治体モデルになっていかなければ思うんですけど、SDGsの推進体制というのはどういったかたちになっているのでしょうか。

事務局 SDGsなんですけどそれぞれの目標は各所管する部署がやるんですけど、取りまとめとしましては、地域創生推進課が取りまとめを行っていくかたちとなっております。

委員 第 3 の施策の公共施設のところです、三つの政策の中で、第 3 の政策の公共施設の整理っていうのは、結構重たい話だと思ってます。現在、湖南省の公共施設はどれぐらい数があるのでしょうか。

事務局	<p>今現在なんですけども、市内のハコものといわれる施設につきましては135施設存在するということでございます。</p>
委員	<p>この135施設という対象が明確であれば、数値的なものを、どこかに入れておいた方が、イメージがすごくわかりやすいんじゃないかなというのがちょっと気になっています。どれだけの施設を検討していくのかということは入れておくべきかというふうに思うので、ご検討いただけたらなというふうに思っています。</p>
会長	<p>事務局の方から少し補足をしてご説明をいただければと思いますが、公共施設等総合管理計画も5年ほど前に策定をし、十年間で総面積を減らしていくといったような方針も出てきているとは思われます。この辺り総合管理計画と今後策定をしていただく実施計画の内容との連携といったようなところ事務局としてどういうふうにお考えなのか、この辺りもしご説明があれば、付け加えていただければと思いますよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>今の数値的な部分につきましては会長がおっしゃっていただきました通り、公共施設等総合管理計画で、延べ床面積を40年間で7万3千㎡の削減、今後10年間につきましては、1万㎡延べ床面積の削減というふうなところを書かせていただいているところでございますので、延床面積の削減というような形で、何とか数値で実施計画の部分で記載できるところがあれば、記載をさせていただければと考えております。</p>
会長	<p>実施計画段階で改めて精査をして、数値目標を掲げていただければ、委員からご指摘いただいた通り、具体的な目標というのが、明確になりますし、計画を着実に進めていくことにも繋がるかと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>実施計画の取り組み内容の1の政策の1と2とか両方に関わってくることもかもしれないんですけども。社会がちょっと変わって、オンラインで新しいコミュニティの場を作ったりして、そこがいろんな情報を受けたり発信したりっていう一つの、何か新しい社会ができてんじゃないかなとも思っています。実はなぜそんなこと言ってるかっていうと、守山市では、この4月末に湖南省の coworking が守山市に参入してきました。利用してみると、30代とかを中心に、新たな方々が集まってこられています。そういったところもうまく利用する時代が来るんじゃないかって思いますし、本当に時代が変わって行って、ちょ</p>

っと違う仕組みに今なろうとしてるので、単に担当課だけでなく市全体として総合的に変えられるように出来たらと思います。

会長

ただいまご指摘いただいた点は、それぞれの部署の中だけではなくて、他の分野で進みつつあることにきちんと目配りをしながら、コミュニティビジネスおこしであれば、どんな可能性があるのかといったようなことを探していくといったようなこともなければ進みませんし、これは市民への周知も同様かと思えます。広報一つを作るにしても、市民参加のあり方を考えていくにいたしましても、新しい視点の持ち方というのがないと、どうも従来のやり方の中で収まり、結局発展性がないことになりかねないということもあろうかと思えます。この辺りちょっと具体的にどう落とし込んでいくのか難しいのですけれども、今後の実施計画づくりの中でぜひ方針としてしっかりと踏まえてそれぞれの取り組みというのを作っていただく、そういう方向づけをお願いできればというふうに思っております。よろしくお願ひいたします。

委員

先ほどご紹介いただいた守山の方々が去年、夏祭りを、バーチャルでやった方たちです。この甲西駅の近くにもそういう場所を作ってます。

今回、第1の施策でコミュニティビジネスの支援(ファンドの活用)って書いてあるのですけれども、このファンドっていうのはクラウドファンディングのことでしょうか。

事務局

表記がわかりにくくて申し訳ございません。クラウドファンディングの意味で書かせていただいております。もう少し、表記につきましてはわかりやすい表記に努めさせていただきます。

委員

実施計画の取り組み内容ということになると、この中には数値目標がないといけないと思えます。地域プロデューサーの育成を何名ぐらいとか、クラウドファンディング3つぐらいとか、そんな簡単ではないということはおよくわかっておりますんで、例えばマイナンバーカードの普及促進って言ったら、マイナンバーカード、思い切って100%とか。無理ですけど、やっぱり、そういう指標みたいなのがいただきたいなというのがあります。

また、デジタル社会の推進のところ、窓口コンシェルジュの設置とか他の委員の方からご指摘あったかもしれませんが、できるだけ横文字じゃないやさしい言葉で表現していただけたらと思います。

最後に、市のオープンデータ化ですが、進めたいというふうに書いてくださって本当ありがたいことだなと思ってますけども、何かこうホームページ

を見たくなるような仕掛けっていうのを、計画の中には入れることなどを考えていただけたらありがたいと思います。

会長

事務局の方で数値目標設定や、カタカナ表記どうするか、合わせてまた特にデジタル化を通じて、市民の皆様方にわかりやすい行政ということはどう実現していくのかそのお手伝いをどんなふうにしていくのか、市の情報発信の工夫の仕方について実施計画の中で考えてはどうかということで、ご意見いただきました。

事務局の方で少し補足説明もいただければと思いますがいかがでしょうか。

事務局

実施計画につきましては必ず検証できるように、数値を入れるような形で進めさせていただきます。

それから二つ目、ICTとか横文字が多い部分ですが、やさしい言葉、わかりやすい日本語表記というようなことも考えさせていただきたいと思います。

それから三つ目に、ホームページ等のことでご意見いただきまして、確かに今までは広報しかないところからホームページっていうふうになってきて、今 SNS とかいろいろそういう仕組みも進めておるんですけど結局見ていただかないことには、話にならないのは周知のことだと思います。この部分については、実施計画に入れる以前の問題で、常日頃の課題かというふうにご考えておりますので、今日のご意見も含めまして、所管課の方と話を検討させていただけたらというふうには思っております。

委員

心配してるのが、私もいろいろ事業をすると湖南省の方々がたくさん守山の事業に参画していただいているので、優秀な人材とか若い人たちが市外へ流出しないように、湖南省もそういう人たちが活躍されているのは、支援いただきたいと思っておりますし、考えて欲しいと思ひ発言させていただきました。

会長

ぜひ、そうした若い方々が湖南省で、新しい活動を起こしてみようという気になるような、クラウドファンディングや或いはそういう機会の設定ということ、これから具体的に考えていっていただくというのが委員のご趣旨かと思ひますので、この辺りもまたご担当課ともしっかりと連携をしていただひて具体策を進めていただければと思ひますのでよろしくお願ひをいたします。その他、いかがでしょうか。

会長

よろしいでしょうか。

それでは取り組み項目につきましては、個別にもいろいろご意見をいただきました。また、全体通じて実施計画の策定に当たりましては、目標の設定や、或いは、わかりやすい言葉遣い、市民への情報の提供の仕方について、この辺りを含めてご意見をいただきました。

今後に向けて、課題はたくさんございますけれども、こうした基本的な方向づけということを踏まえて、これからの計画策定を進めていただければというふうに思っております。

いずれにいたしましても、持続可能な地域づくりという点でまさにSDGsの精神というのを、この行革の中でも実現をしていかなければならないという状況でございます。そのためにも、行革をしっかりと進めていくということが、これからの湖南省を支えていくということになろうかと思っておりますので、そのための実施計画づくりになろうかと思っておりますので、ぜひ事務局におかれましては担当各課と密にコミュニケーションをとって実施計画が中身のあるものになっていくようにし、理想の姿というのが実現できていく、そういう実施計画にさせていただくようお願いをいたしまして、この実施計画の各項目については以上にしたいと思っておりますが、各委員よろしいでしょうか。

会長

ありがとうございました。それでは行革大綱実施項目に実施計画の取り組み項目につきましては以上にさせていただきます。

引き続きまして議題もう一つその他というのがございます。事務局の方から何かございますでしょうか。

事務局

【事務局策定スケジュールについて説明】

会長

ありがとうございました。

今後の進め方ということで、ただいま事務局からご説明をいただきました。各委員から何かご質問、或いはご意見ございましたらお願いをしたいと思います。

会長

よろしいでしょうか。

それではただいま事務局からご説明がございました通り、今日いただきましたご意見に基づきまして、若干原案修正をさせていただき、それに基づきまして提言に進めて参りたいというふうに思っております。なお、提言に当たりまして、本日ご了解をいただきました通り、事務局と会長私の方で取りまとめさせていただきますけれども、取りまとめさせていただいても、各委員にもお示しをさせていただいて、ご確認をいただければというふうに思っ

おりますので事務局の方でもそのような手順で進めていただければと思います。よろしく願いをいたします。

それでは今後の進め方につきましてよろしければ、そのような進め方にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

会長

ありがとうございます。それでは今後の進め方につきましては以上にさせていただきます。本日、予定をしておりました。議題につきましては、以上でございますけれども、今日は今回の行革大綱の策定最後の懇談会となりますので、大変恐縮ですけれどもせっかくの機会ですので市役所、それからネット上でご参加の皆様から一言でもいただければというふうに思いますが、いかがでしょうか。

委員

今回のこの大綱につきましては、コロナ感染という大きな問題も入れていただきましたし、そして、少子高齢化の中で、収支が非常に難しくなってくるというようなことも含めてお聞きしました。その改善に向けて取り組みを、こういうふうにしていくような提言が、委員の皆様方から含めて全員で出させていただいて、完成をしたというふうに思っております。あとは、最後まで実行していただくというのが、大切なことだと思いますので、最後にそれはお願いしておきたいと思っております。

委員

もう先ほど申し上げましたので、少しだけですが、湖南省も守山市も両方がお互いに盛り立て、それぞれが、よりよく発展していくそのためには若い方達が、両方で活躍していただくというの大事だと思います。

委員

何回か懇談会へ参加させていただいて、ぼやっとしてた湖南省政っていうのがね、少し見えてきたような感じがします、こういった大綱も含めてですね計画は実行することの方が大切だと思いますので、今まで行ってきたことを変えていくのは大変なことだと思いますが、自分自身も行政まかせじゃなくてですね、個人としても協力いければと思います。

委員

どうもありがとうございます地元に住んでいながら地元のことをほとんど知らずに、大変勉強になりました。やはり実行だけですので、これからぜひ頑張っていただければと思います。

ただし、普段から行政と民間と、なぜこんなに重きを置くところが違うのかという感じがしております。特にお金の部分ですが、すごくアンバランスを感じております。デジタル化がもうこれからのテーマですから、取り繕うとか、曖昧

なもので済まそうとという時代ではこれから済まなくなってくる。

かといって先ほど委員がおっしゃいましたように、三つ目標を上げましたが二つしかできなかったとなったとしても、それはそれでいいんじゃないかと思われま。前向いて挑戦して、やれなかったらもう仕方ないということで、ぜひ頑張っていたいただきたいと思いま。

最後報告書の中で、活性化だとかそっちの方の言葉がなかった。当然削る方の行革ですが、もう少し前向きなものもあっていいんじゃないか。活性化委員会みたいのも、つくればいいんじゃないかということを感じました。

ぜひ頑張っていたいただければと思いま。

会長

この行革の大綱は、もう一方では総合計画という、まさに発展のための計画が、その中でもさらに活性化ということを、どういふふうに進めていけばいいのか、ぜひ市民の皆さん方の力でより良い発展方向というのを実現していければと思いまよろしくお願いいたしま。

委員

我々も地元で営業する以上、正直言っ、湖南省地域の発展なくして我々も発展なしというふうに考えておりますし、そういった中での大きな今後5年間の方向性の話の中で、入り込ませていただけたということは非常に感謝をしております。今後については、大きな三つの施策ですね、具体的なスケジュールを早期に出していく必要があるというふうに思っると、それを元に行っしていくことになっていくと思いま。その中で、お力添えできるところもあればというふうに思っますので、引き続きよろしくお願いいたしま。

委員

一番必要なのは無駄のないやり方、特に施設の有効利用、それから無駄を排除して欲しいというのが一番大きな願いなんですけども、それを具体的にどんどん進められるよう、私もサポートさせていただきたいと思いま。皆さんがたの良い知恵をたくさんいただきましたので、今後も勉強させていただいて、発展する湖南省市を目指したいと思いま。

委員

今困っるっていふようなことではワクチンの予約が取れない、電話がつかないということが私のところに連絡ありました。それから、隣の人が、スマホで予約したいんやけどどうしたらよいか聞いてきましたので、私が予約取っあげましたら、喜んで帰りました。こういった身近な問題で、たくさんの方が困っるってことをまず行政の方は知らないかんと思いま。デジタル化も結構なんですけど、そこに該当しないメンバーはたくさんいるんだということも含めて検討していただいて、10年後湖南省市に住んでてよかったと思え

るようにしてほしいと思います。

会長

どうもありがとうございました。
本当に市民の皆様方が納得をして住んでよかったというふうに思っていただけ
けるそういう、行政サービスというのを作っていかないといけないということだ
ろうと思います。あれもこれもできませんが、多くの市民の方々に納得してい
ただけるような施設、そういう行政のあり方というのを追求していくのも行政の
役割かと思っておりますので、しっかりとご意見踏まえていただければという
ふうに思います。

委員

湖南省には十二坊温泉がありますので、頑張っていただきたいなと思
います。コツコツと行革ですから、積み重ねていくことが多いと思いますけど何
かこう、夢みたいなものを持つてるのはいいかなというふうに、心から思っ
ております。

委員

市の職員の方に今お願いしたいんですが、方向性というのをしっかり持っ
ていただいて、話し合っていく。
またテーマはたくさんあるんですが、そのテーマを幾つも取り組むのではな
く、地域の方、町の方が喜んでいただけることが優先されるべきだと私は思
っておりますので、その辺も考えていただいて、これから計画をしていただけ
ることをお願いしたいと思います。

委員

今回参加させていただきまして、1 市民としての細かい意見を吸い上げて
いただいて、本当にそれを取りまとめて作っていただいてありがたかったと思
っております。今回の地域力・デジタル化・経営力の向上を目指してってこと
で、大綱が出てますが、実際の実施していく場っていうのがやはり一番大切
にはなってくるかと思えます。当初の会議で委員の方がウェブ会議を言っ
てくださっていましたが、今回、こうやって実際に実現したっていうことは、な
かなかよかったんではないかなっていうふうに思っております。

ただ、こういうオンライン会議を実現するとかいうことにあたってはそれなり
の環境整備が必要ですので、他の委員の方もおっしゃってましたけれども、
そういった環境が難しい方にも、放っておかないようにするかっていうことを
考えていかないといけないのかなっていうのはありますが、今回のこの懇談
会だけでもオンラインにできたことはよかったと思っております。

会長

最後にオンライン会議が実現できてよかったかと思えます。しかもこういう

会場に集まりいただくのと合わせたハイブリッド方式も取れて、これなかなか進行難しいと思ってたんですけども、活発なご議論をいただき本当に感謝しております。

もちろん、ご指摘の通り、誰 1 人取り残さないというのが、この湖南省でも基本的な方向ですので、その点でもこのデジタル化というのが、そしてその恩恵というのがすべての人に享受できるような、行政のやり方というのをぜひ目指して進めていっていただければと思います。

委員

委員の皆様のご活発なご議論、また新川会長の適切な運営によって、ようやく大綱がまとまりまして、大変よかったですと思います。今後、実施計画を作るというのがまた極めて重要になってくると思います。これも、意味あるものにならないとせっかくの大綱が生きないので、ぜひ引き続きよろしく願いいたします。

会長

本当に委員の皆様方のおかげで、ここまで取りまとめを進めてくることができました。市長さんが画面に映っておられるのですが、もしも何か一言いただければと思いますが、突然で申しわけありません。

市長

市長にならせていただきまして、半年であります。行政の中に入らしてもらって思うことは、やっぱり夢は夢として持たなきゃならんということ、具体的に手順を踏んでやらなきゃならないがその手順の踏み方が、非常にスピードが求められるところがあるというふうに思います。それともう一つは、やっぱり責任の所在をはっきりしたい。それともう一つは、費用対効果が大事であると思います。私としては、あまり使いたくない言葉ですが、役所的なことは言いますとPDCAサイクルを回すという言葉がございしますが、必ずちゃんとチェックして、次の段階でまわしていくという形のこの手順は、やっぱり大事なことでございますので、その責任を果たしていきたいと思っておりますので、何卒今後ともご協力のほどお願いしたいと思います。

会長

本当に委員の皆様方ご尽力そして事務局のご協力のもとでここまで進めてくることができました。また最後に市長さんから言葉をいただき今後に向けての、私たちの努力が報われそうということで、話を受けとめていただいているものと思ひまして、ありがとうございました。

それでは以上をもちまして本日の懇談会は終わりたいと思います。事務局の方にお返しをさせていただきます。

事務局

会長ありがとうございました。

それでは、今回でこの行政改革懇談会最終ということとなります。

先ほど申しました通り後事務局と会長で、提言を取りまとめさせていただきます。最後になりますので事務局を代表いたしまして総務部長の井上より一言ごあいさつを申し上げます。

【総務部長挨拶】

事務局

それではこれもちまして本日の懇談会、閉会とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

閉会 11 時 30 分